

平成25年度(平成24年度決算)事業評価シート(分科会用)

評価者名 文教厚生委員会分科会

基本施策 (半田市の目指す将来の姿)	●高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活できるようになっていきます。	部課等名	福祉部 地域福祉課	評価表整理No	15-009
事務事業名	総合相談事業				

1 項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄に必ず記入してください。

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
有効性 (基本施策に適合しているか)	①きわめて有効性が高い(85~100点)	○	半田市の目指す将来の姿を実現するためには、有効な事業と考える。また、高齢者の福祉施策満足度など目標達成するためにも有効な事業である。一方で相談内容は多様化、複雑化する中、十分な対応ができていないケースもある。
	②有効性が高い(69~84点)		
	③どちらかといえば有効性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば有効性が低い(37~52点)		
	⑤有効性が低い(21~36点)		
	⑥有効性がない(0~20点)		
		86	
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
効率性 (より効果的な改善が可能か)	①きわめて改善の必要がない(85~100点)		総合相談事業は、様々な悩みを抱えた相談者に対し、適切な事業へ導く最も基本的・初期的な相談窓口である。そのために、「お出かけ相談室」のような、身近な場所で、いつでも相談ができ、相談者に適した必要な関係機関へスムーズにつなげる様な改善が必要である。高齢者やその家族など介護者に対し、安心できる運営が図られるよう、さらなる充実を求める。
	②改善の余地は少ない(69~84点)		
	③どちらかといえば改善の余地は低い(53~68点)		
	④どちらかといえば改善の余地は高い(37~52点)	○	
	⑤改善の余地は多い(21~36点)		
	⑥改善の必要がある(0~20点)		
		44	
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
妥当性 (市が行わなければならないか)	①きわめて妥当性が高い(85~100点)		高齢者が増え続け、さらに多様化する様々な相談もあると想定される中、この事業は社会福祉法人半田市社会福祉協議会へ委託している。今後も社会的な責任を持った民間の力を活かし、サービスの充実を担うことは妥当であるが、行政が責任を持ちバックアップする役割を果たすことが重要と考える。委託事業者と更に密な情報交換を行ない、しっかりとした委託事業者との連携を求める。
	②妥当性が高い(69~84点)	○	
	③どちらかといえば妥当性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば妥当性が低い(37~52点)		
	⑤妥当性が低い(21~36点)		
	⑥妥当性がない(0~20点)		
		77	

※改善及び提案内容は抽象的な表現は避け、具体的に数値等を用いて表現し、箇条書きにて記入してください。

事業改善と予算提案について	
事業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容が複雑かつ多様化するなか、シームレスな対応を可能にするため相談員の更なるスキルアップ研修を行うこと。 ・例えばケアハウス、公民館、憩いの場などでの小学校区単位でちょっとした相談ができ、社協との情報共有ができること。 ・専門知識を持ったスタッフ体制で「お出かけ相談室」のような中学校区単位で気軽に相談できるようにすること。
予算提案	<ul style="list-style-type: none"> ・上記事業改善実施に向けた予算措置を行うこと。
少数意見	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に係る時間単位のコスト計算をし、費用対効果の調査をすること。

平成25年度(平成24年度決算)事業評価シート(分科会用)

評価者名 文教厚生委員会分科会

基本施策 (半田市の目指す将来の姿)	●子育て施策が充実しているまちなっています。 ●子どもと子育て家庭を地域で支え合うまちなっています。 ●学校・家庭・地域が一体となって青少年の健全育成に取り組み、次世代を担う子どもたちが心豊かで健やかに育っています。	部課等名	子育て支援部 子育て支援課 子育て支援部 子育て支援課 教育部 生涯学習課	評価表 整理No	20-008 20-010 34-009
事務事業名	放課後児童健全育成事業 児童センター管理運営事業 放課後子ども教室推進事業				

1 項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄に必ず記入してください。

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
有効性 (基本施策に適合しているか)	①きわめて有効性が高い(85~100点)		子育て支援策、子どもの放課後の健全育成の視点から、半田市の目指す将来の姿に対し有効な事業と考える。しかし、関連性の高い3事業の連携が不十分である。
	②有効性が高い(69~84点)		
	③どちらかといえば有効性が高い(53~68点)	○	
	④どちらかといえば有効性が低い(37~52点)		
	⑤有効性が低い(21~36点)		
	⑥有効性がない(0~20点)		
		67	
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
効率性 (より効果的な改善が可能か)	①きわめて改善の必要がない(85~100点)		多様化する子育て支援に対応するため、運営スタッフの更なるスキルアップが求められる。児童厚生員を配置した児童センターを活用し、時間帯によっては放課後児童健全育成事業、または、放課後子ども教室推進事業との連携を求める。行政の機構の違いは有るものの、今までの連携からより踏み込んだ場所・スタッフ等の連携を検討することにより、更にコスト面も効率的に運営されるよう求める。
	②改善の余地は少ない(69~84点)		
	③どちらかといえば改善の余地は低い(53~68点)		
	④どちらかといえば改善の余地は高い(37~52点)	○	
	⑤改善の余地は多い(21~36点)		
	⑥改善の必要がある(0~20点)		
		37	
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
妥当性 (市が行わなければならないか)	①きわめて妥当性が高い(85~100点)		子ども・子育て支援法の制定や児童福祉法の改定など国の動向(方向性)を注視しながら、子育て支援策、子どもの放課後の健全育成の視点から事業を推進すべきである。運営については、児童センターでの民営化の実施内容を検証し、地域にあった運営方法を検討し、可能な限り地域力の活用を求める。
	②妥当性が高い(69~84点)		
	③どちらかといえば妥当性が高い(53~68点)	○	
	④どちらかといえば妥当性が低い(37~52点)		
	⑤妥当性が低い(21~36点)		
	⑥妥当性がない(0~20点)		
		60	

※改善及び提案内容は抽象的な表現は避け、具体的に数値等を用いて表現し、箇条書きにて記入してください。

事業改善と予算提案について	
事業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援・放課後の健全・安心育成の視点から部課をまたがず1つの課で事業を行うこと。 ・放課後児童健全育成事業の運営は、地域性を見たうえで児童厚生員の居る児童センターを有効に活用し稼働率向上に努めること。 ・放課後子ども教室の運営は、学校での教室不足、ボランティア不足の現状を踏まえ児童センターを有効に活用し稼働率向上に努めること。 ・子育て・放課後の健全育成の視点から、運営については可能な限り民間力を活かすこと。
予算提案	<ul style="list-style-type: none"> ・3事業を連携圧縮することで経費削減策を検討すること。
少数意見	<ul style="list-style-type: none"> ・運営については国の動向を見ながらではあるが、半田市が行う事業である。 ・放課後児童健全育成事業では、保育料の高さが入所を妨げていることが問題。 ・放課後児童健全育成事業では、指導員のスキルアップが必要。全国大会や全国学童保育指導員学校などの研修会への参加費を予算化する必要がある。

平成25年度(平成24年度決算)事業評価シート(分科会用)

評価者名 文教厚生委員会分科会

基本施策 (半田市の目指す将来の姿)	●文化財の専門家による講座・見学会の開催により、保存意識が醸成され、文化財の保存が図られています。 ●雁宿ホール、博物館などの文化施設が多くの人に利用され文化への関心が高まっています。 ●新美南吉の故郷である半田市に誇りと愛着をもち、幅広い世代が南吉作品に親しんでいます。	部課等名	教育部 博物館 (新美南吉記念館)	評価表 整理No	36-005
事務事業名	新美南吉記念館一般事務				

1 項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄に必ず記入してください。

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
有効性 (基本施策に適合しているか)	①きわめて有効性が高い(85～100点)	○	半田市の目指す将来の姿に向けて有効な事業と考える。しかし、郷土の文化に関心を持っている市民の割合は高くない。
	②有効性が高い(69～84点)		
	③どちらかといえば有効性が高い(53～68点)		
	④どちらかといえば有効性が低い(37～52点)		
	⑤有効性が低い(21～36点)		
	⑥有効性がない(0～20点)		
86			
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
効率性 (より効果的な改善が可能か)	①きわめて改善の必要がない(85～100点)		今年度で新美南吉生誕100年の各事業を終え、市民にとって、身近な財産であることを更に浸透していくためにも、小・中学校教育の中で、誇りや愛着をもたれる授業を継続的に取り入れていく必要がある。また、「新美南吉」を今後は半田市の観光資源と捉え、さらに全国へ発信すべきである。そして、南吉記念館を子どもから大人まで十分楽しめる施設とするために、駐車場や周りの環境を整えるべきである。市民協働の観点から、更に地域力も活かして運営する必要がある。新美南吉を文化・教育的視点だけでなく、観光資源としてとらえ、各部の連携をはかり事業推進を求める。
	②改善の余地は少ない(69～84点)		
	③どちらかといえば改善の余地は低い(53～68点)	○	
	④どちらかといえば改善の余地は高い(37～52点)		
	⑤改善の余地は多い(21～36点)		
	⑥改善の必要がある(0～20点)		
58			
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
妥当性 (市が行わなければならないか)	①きわめて妥当性が高い(85～100点)		行政がやるべき事、民間の力を活用する事を区別する。例えば、南吉文化的財産の保存は行政が担い、南吉記念館を観光資源として活かすイベント企画や誘客などは民間の力を活用、南吉文化の継承は学校教育が担うなど、それぞれを検証し、行政と民間事業、市民協働の役割を活かし事業の推進を求める。
	②妥当性が高い(69～84点)	○	
	③どちらかといえば妥当性が高い(53～68点)		
	④どちらかといえば妥当性が低い(37～52点)		
	⑤妥当性が低い(21～36点)		
	⑥妥当性がない(0～20点)		
83			

※改善及び提案内容は抽象的な表現は避け、具体的に数値等を用いて表現し、箇条書きにて記入してください。

事業改善と予算提案について	
事業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・南吉生誕100年記念事業終了後も、文化財遺産や歴史的文化の継承だけでなく、他の部課と連携し観光事業としても捉え事業を推進すること。 ・今後も小・中学校教育の中で誇りや愛着を持たれる授業を継続的に取り入れていくこと。 ・文化的財産の保存は行政、南吉記念館を観光資源として活かすイベント企画や誘客は民間、南吉文化の継承は学校教育と、役割を明確にし推進すること。
予算提案	<ul style="list-style-type: none"> ・行政、民間の役割を明確にしイベント企画や誘客は今年度の盛り上がった熱気を継続させる予算編成をすること。
少数意見	<ul style="list-style-type: none"> ・休館日を減らし来客者への利便を向上させる必要あり。 ・生家などに常勤で説明者がいるとよい。 ・行政、民間の役割を明確にしイベント企画や誘客は平成25年度同様に予算編成をすること。